

2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月15日

上場会社名 株式会社和心

上場取引所 東

コード番号 9271 URL <https://www.wagokoro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 森 智宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮原 優

TEL 050-5243-3871

四半期報告書提出予定日 未定

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	614	△14.2	△154	-	△151	-	△147	-
2019年12月期第1四半期	715	19.9	△6	-	△6	-	△4	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△52.28	-
2019年12月期第1四半期	△1.68	-

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2020年12月期第1四半期	1,810		774		42.8	
2019年12月期	2,041		972		47.6	

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 774百万円 2019年12月期 972百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	-	-	-	-
2020年12月期	-	-	-	-	-
2020年12月期 (予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

2020年12月期の業績予想については、現時点で合理的な算定が困難なため、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	2,818,700株	2019年12月期	2,818,700株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	-株	2019年12月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	2,818,700株	2019年12月期 1 Q	2,816,300株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2020年12月期の業績予想については、現時点では当社として未確定な要素が多いため、合理的な算定・予想を行うことができておりません。なお、当該理由などは、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、厳しい状況にありました。感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要があります。

当社の属する小売・サービス業界におきましては、消費税増税等の影響により個人消費が低迷していた上、新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、不要不急の外出やイベント等の自粛要請の影響により消費マインドは悪化し、厳しい状況となりました。また、2020年1～3月の訪日外国人旅行者数は前年同期比51.1%減少、訪日外国人旅行消費額は前年同期比41.6%減少（出典：日本政府観光局（JNTO））しており、インバウンド消費も冷え込みました。

このような経済環境の下、当社は「日本のカルチャーを世界へ」という経営理念に基づき、「日本を感じるモノを作る」モノ事業と「日本の良さを体験していただく」コト事業の2事業の強化に引き続き取り組みました。しかし、一部店舗の臨時休業や営業時間短縮のため来店客数が減少し、減収を余儀なくされました。出退店につきましては、スクラップアンドビルドを進めた結果、当第1四半期累計期間において、出店が5店舗、退店が12店舗、業態転換が2店舗、当第1四半期累計期間末の店舗数は合計84店舗（前事業年度末比7店舗減）となりました。一方で、店舗関連費用の削減に取り組みましたが、販売費及び一般管理費は630,423千円（前年同期比13.1%増）となりました。

その結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高614,041千円（前年同期比14.2%減）、営業損失154,358千円（前年同期は営業損失6,442千円）となりました。経常損失は151,754千円（前年同期は経常損失6,827千円）、四半期純損失は147,358千円（前年同期は四半期純損失4,736千円）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(モノ事業)

モノ事業においては、採算性を再見積もりしてスクラップアンドビルドを進めました。その結果、当第1四半期累計期間末における店舗数は、〔かんざし屋wargo〕16店舗（前事業年度末比3店舗減）、〔The Ichi〕7店舗（同2店舗増）、〔北斎グラフィック〕22店舗（同7店舗減）、〔箸や万作〕11店舗（同1店舗減）、〔猫まっしぐら〕9店舗（同2店舗増）、合計65店舗（同7店舗減）となりました。その他、ネット通販、OEMサービス等も行っております。

その結果、モノ事業の売上高は420,925千円（前年同期比17.4%減）、セグメント利益は△54,206千円（前年同期は54,237千円）となりました。

(コト事業)

コト事業においては、着物レンタルが卒業式等のイベント自粛により影響を受けました。当第1四半期累計期間末における〔きものレンタルwargo〕の店舗数は19店舗（前事業年度末比±0）となりました。

その結果、コト事業の売上高は193,116千円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益は2,855千円（前年同期比91.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて228,091千円減少し911,668千円となりました。これは主に現金及び預金が239,809千円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて2,775千円減少し897,882千円となりました。これは主に有形固定資産が40,348千円増加、投資その他の資産が39,482千円減少したことなどによります。

その結果、資産合計は、前事業年度末に比べて231,125千円減少し1,810,393千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて5,016千円増加し601,226千円となりました。これは主に買掛金が11,267千円減少し、未払金が17,702千円増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて38,371千円減少し434,688千円となりました。これは主に長期借入金が42,864千円減少したことなどによります。

その結果、負債合計は、前事業年度末に比べて33,355千円減少し1,035,914千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて197,770千円減少し777,478千円となりました。これは利益剰余金が147,281千円減少したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大により、政府より2020年4月7日に発出された緊急事態宣言及び各自治体からの外出自粛要請を受けて全84店舗を臨時休業しておりましたが、5月14日より順次営業を再開しております。しかし、現状では新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えず、その影響を見通すことは極めて困難であります。2020年12月期業績予想を合理的に見積もることは困難であるため、合理的な業績見通しの算定が可能になった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	502,424	262,614
売掛金	138,079	104,492
商品	339,067	361,085
その他	160,188	183,475
流動資産合計	1,139,760	911,668
固定資産		
有形固定資産	225,358	265,706
無形固定資産	121,681	118,040
投資その他の資産		
敷金	299,090	315,123
その他	254,527	199,012
投資その他の資産	553,618	514,135
固定資産合計	900,658	897,882
繰延資産	1,100	842
資産合計	2,041,519	1,810,393
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,831	57,563
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	171,456	171,456
未払金	166,831	184,534
賞与引当金	8,061	4,119
その他	81,027	83,553
流動負債合計	596,210	601,226
固定負債		
長期借入金	473,060	430,196
その他	-	4,492
固定負債合計	473,060	434,688
負債合計	1,069,270	1,035,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	439,079	439,079
資本剰余金	410,549	410,549
利益剰余金	137,619	△9,662
株主資本合計	987,247	839,966
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,998	△65,619
評価・換算差額等合計	△14,998	△65,619
新株予約権	-	131
新株予約権合計	-	131
純資産合計	972,248	774,478
負債純資産合計	2,041,519	1,810,393

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	715,316	614,041
売上原価	164,236	137,976
売上総利益	551,079	476,065
販売費及び一般管理費	557,521	630,423
営業損失(△)	△6,442	△154,358
営業外収益		
受取利息	28	62
受取配当金	-	1,753
受取手数料	72	1,500
受取保険金	340	-
その他	11	579
営業外収益合計	453	3,896
営業外費用		
支払利息	230	557
為替差損	289	465
株式交付費償却	258	258
その他	60	10
営業外費用合計	838	1,292
経常損失(△)	△6,827	△151,754
特別利益		
固定資産売却益	-	24
助成金収入	-	9,859
特別利益合計	-	9,884
税引前四半期純損失(△)	△6,827	△141,870
法人税等	△2,090	5,488
四半期純損失(△)	△4,736	△147,358

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期損益計算 書計上額(注2)
	モノ事業	コト事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	509,868	205,447	715,316	715,316	-	715,316
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-
計	509,868	205,447	715,316	715,316	-	715,316
セグメント利益	54,237	34,881	89,119	89,119	△95,561	△6,442

(注) 1. 調整額△95,561千円は、本社管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期損益計算 書計上額(注2)
	モノ事業	コト事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	420,925	193,116	614,041	614,041	-	614,041
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-
計	420,925	193,116	614,041	614,041	-	614,041
セグメント利益	△54,206	2,855	△51,350	△51,350	△103,008	△154,358

(注) 1. 調整額△103,008千円は、本社管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。